

県政報告

広島県議会6月定例会は6月10日から6月21日までの12日間の日程で開催され、原油価格・物価高騰対策、新型コロナウイルス感染症対策、G7広島サミット開催準備などの補正予算及び条例改正等が審議・決定しました。

《令和4年度6月定例会の概要》

■補正予算額 356億7千9百万円

原油や穀物等の価格高騰による課題に緊急かつ機動的に対処するため、国の交付金等を活用し、「原油価格・物価高騰対策」を実施します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による様々な課題に迅速かつ適切に対処するため、国の交付金等を活用し、「新型コロナウイルス感染症対策」を実施します。

さらに、令和4年度当初予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる事業に時機を逃さず対応します。

1 原油価格・物価高騰対策

4,333百万円

(1) 物価高騰による影響の緩和 [2,277百万円]

○県産酒類を活用した観光誘客促進事業 新型コロナウイルス感染症の影響に加え、物価高騰の影響を受ける酒類について、観光客向けの需要喚起に取り組む事業者を支援	660百万円
○配合飼料価格高騰に対する支援 配合飼料価格の高騰による畜産経営体への影響を緩和するため、配合飼料価格安定制度における積立金の一部を支援	122百万円
○公共交通事業者への支援 燃油費高騰により厳しい経営状況にある公共交通事業者に対し、燃油費高騰分に係る影響額の一部を継続支援するとともに、高速バス事業者が実施する経営改善等に向けた調査分析及び実証事業を支援	289百万円
○広島空港の航空ネットワークの維持に向けた支援 コロナ禍における旅客需要激減の長期化や物価高騰等の影響により、広島空港の定期路線の維持が極めて困難になっていることから、航空会社等に対して、航空ネットワークの維持に必要な支援を実施	66百万円
○個人向け緊急小口資金等の特例貸付の実施 休業等のため一時的な資金が必要な世帯への貸付に必要な資金を増額	84百万円
○生活困窮者への支援体制の強化 物価高騰等の影響により、生活に課題を抱える生活困窮者の多様な支援ニーズに対応するため、生活困窮者への支援体制の強化を図る市町の取組を支援	12百万円

○ 県立施設における対策（庁舎、県立学校、指定管理施設等） 燃料価格高騰を背景に、指定管理施設を含む県立施設において高騰している光熱水費の価格上昇分を増額	915 百万円
○ 私立学校電気料金高騰対策 私立学校における電気料金高騰に対する負担軽減を図るため、価格上昇分を学校法人へ補助	83 百万円
○ 県立・私立学校等における給食費等の負担軽減 食材価格が高騰する中においても、これまでどおり栄養バランスや量を保った学校給食等を実施するため、県立・私立学校等に対して、学校給食等における食材費の価格上昇分を支援	49 百万円

(2) 省エネ等の取組を後押し [2, 055百万円]

○ 経営革新に取り組む事業者への支援 原油価格や物価高騰等を受け業況が厳しい中、経営革新計画の変更の承認を受けて、新事業展開などの経営革新に取り組む意欲的な事業者に対して、設備投資や人材育成等に要する経費を支援	108 百万円
○ 中小事業者における省エネルギー機器の導入支援 省エネルギー化を進めるため、中小事業者において必要な機器の導入を支援	230 百万円
○ 施設園芸産地における省エネルギー機器等の導入支援 省エネルギー化を進めるため、施設園芸産地において必要な機器等の導入を支援	82 百万円
○ 公共交通事業者への支援 今後の持続可能な公共交通の実現に資する省エネルギー化やデジタル化等への投資に係る経費の一部を支援	426 百万円
○ 貸切バス・旅客船事業者に対する支援 県内の貸切バス・観光旅客船事業者に対し、環境（省エネルギー）対策やインバウンド対策など持続可能な観光の実現に向けた投資を支援	441 百万円
○ トラック事業者における省エネ・CO2 削減支援 新型コロナウイルス感染症の影響に加え、燃油費等の高騰により厳しい経営状況にある運輸事業者に対し、燃費性能の向上と CO2 削減を推進するため、エコタイヤ・環境対応車等の導入を支援	768 百万円

2 新型コロナウイルス感染症対策 30,794百万円[基金積立を除く実質事業費]

(1) 感染拡大防止対策 [6, 712百万円]

○ PCR検査体制の確保 行政検査に必要な試薬の購入や検査機関の設備整備、PCR センター等の継続的な設置・運営などを実施	4,937 百万円
○ 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口設置 保健所機能の維持・強化を図るため、相談窓口の設置等を継続するとともに、積極的疫学調査の体制を維持	111 百万円

<p>○自宅療養者等の健康観察フォローアップ 保健所の業務負担軽減を図りつつ、自宅療養者等に対する健康観察体制を確保するため、自宅療養者等の健康観察業務等の民間事業者への委託を継続して実施</p>	1,445 百万円
<p>○飲食店における感染防止対策 「広島積極ガード店ゴールド」の認証や質の担保のための実地調査を継続して実施</p>	80 百万円
<p>○ワクチン接種体制の整備 ワクチンの4回目接種を円滑に行うため、個別接種の促進や市町の住民接種体制の整備を支援</p>	139 百万円

(2) 医療提供体制の確保 [22,645 百万円]

<p>○病床の確保 新型コロナウイルス感染症患者の入院病床を確保するための空床補償として、医療機関に対し必要な経費を継続して支援</p>	9,922 百万円
<p>○宿泊療養施設の確保 陽性無症状患者及び軽症者が安静・療養可能な受入施設を確保するための宿泊施設を継続して借上・運営</p>	10,096 百万円
<p>○患者搬送体制の整備 新型コロナウイルス感染症軽症患者等の搬送業務の民間事業者への委託を継続して実施</p>	413 百万円
<p>○医療提供体制の確保 新型コロナウイルス感染症患者の診療を担う医療機関の設備整備等への支援などを継続して支援</p>	2,214 百万円

(3) 事業継続と雇用維持 [1,100 百万円]

<p>○頑張る中小事業者月次支援金 頑張る中小事業者月次支援金について、見込みを上回る申請に対応するために必要な経費を増額</p>	1,100 百万円
--	-----------

(4) その他 [336 百万円]

<p>○介護サービス事業所等のサービス提供体制の確保 新型コロナウイルス感染症の影響による介護サービス事業所・施設等におけるかかり増し経費等について継続して支援</p>	336 百万円
<p>○新型コロナウイルス感染症対策基金への積立 新型コロナウイルス感染症に関して受領した寄附金を「新型コロナウイルス感染症対策基金」へ積立</p>	24 百万円 [基金積立]

4 その他

193 百万円

(1) それぞれの欲張りなライフスタイルの実現 [2 百万円]

<p>○イノベーション人材の育成 産業DXやイノベーションの原動力となる人材の育成のため、県内の情報学部・学科等で学ぶ学生に対する奨学金制度を創設</p>	2 百万円 債務360 百万円
--	--------------------

(2) その他 [191百万円]

OG7広島サミットの推進 2023年に本県で開催されるG7広島サミットを成功に導くため、行政や経済団体等と連携し、首脳会議の開催支援や広島の魅力発信、歓迎機運の醸成等への取組を実施	140百万円
OG7広島サミット警備実施体制整備 G7広島サミットにおける警備を徹底するため、新たに設置する「サミット対策課(仮称)」の執務室を賃借する等、必要な体制を整備	51百万円

《新型コロナウイルス感染症対応の累計》

<令和元年度から>

総額 5,408億8千4百万円

令和3年度までの累計	432,021百万円
令和4年度現計予算(補正前)	78,069百万円
令和4年度6月補正	30,794百万円

※基金積立を除く実質事業費

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

■ 条例 [7件]

【改正】(7件)

○広島県手数料条例及び県立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例 など

■ 人事案件 [3件]

○広島県副知事の選任の同意について など

■ その他の議案 [4件]

○港湾管理事務の事務委託に関する協議について など

■ 意見書 [4件]

○地方財政の充実・強化に関する意見書 など

[6月定例会トピック]

広島県産酒類購入クーポン発行の予算を可決

- コロナ禍等の大きな影響を受けた広島県産の日本酒やワインなど酒類の販売促進と観光需要の早期回復を後押しするため、県外観光客等が県産酒類を購入できるクーポンをホテル等で配布する補正予算を可決しました。

予算額 6億6千万円

事業内容 額面2千円のクーポンを30万枚発行



(県庁での県産日本酒販売会)

広島県初の女性副知事の選任に同意

- 広島県初の女性副知事となる玉井優子副知事の選任に同意しました。
- 玉井副知事は経済産業省の出身で広島県の産業振興等で手腕を発揮されることが期待されます。

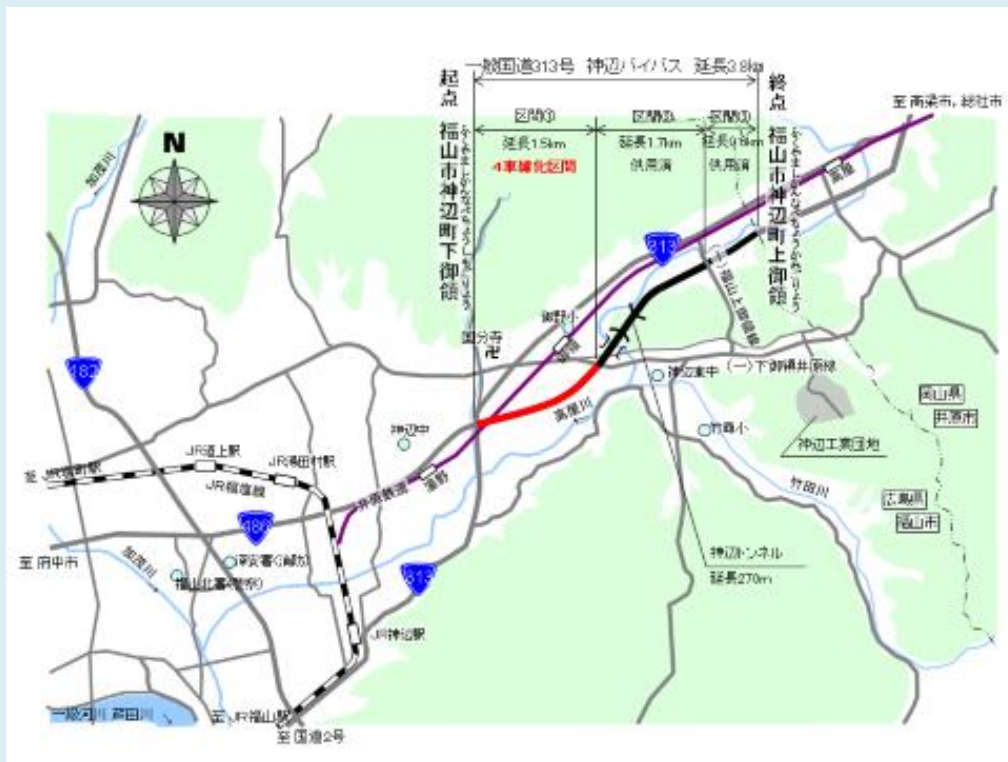


(本会議での玉井新副知事)

国道313号（神辺バイパス）の整備

～4車線化整備を推進します～

- 神辺町下御領から岡山県境までの約3.8キロ区間に整備された「神辺バイパス」は、平成30年4月に暫定2車線で全線開通しました。
- このバイパス区間のうち、国道486号との交差点（湯野口交差点）から岡山方面へ約1.5キロ区間の4車線化整備について、令和4年度中の工事着手に向けた準備が県東部建設事務所において進めています。



急傾斜地崩壊対策事業の推進

～福山市神辺町川北 秋丸地区でも整備が進展しています～

- 豪雨による災害が激甚化、頻発化する中、土砂災害から県民の安全・安心な暮らしを守るため、急傾斜地崩壊対策事業が推進されています。福山市神辺町川北秋丸地区でも県東部建設事務所により事業が進めています。
- 当該地区は、県立神辺旭高校の南側にある、最大がけ高約 20m、勾配 35 度の急傾斜地で、令和 3 年度より斜面を法枠で覆う工事に着手しており、早期の完成を目指しています。

(工事着手前)



(工事の状況：令和4年5月)



議員定数等調査特別委員会について

～委員長として「現状維持」をとりまとめ～

- 令和2年国勢調査の結果を踏まえ、昨年12月に、県議会の議員定数や選挙区について議論するため県議会に設置された議員定数等調査特別委員会の委員長に就任し、本年6月までに計6回の委員会を開催いたしました。
- 審査に当たっては、参考人の意見聴取も行い議論を深めながら、活発な議論が行われました。私も委員長として、各委員からの意見を踏まえ、慎重に方向性を取りまとめ、総定数、各選挙区の定数ともに「現状維持」とする結論を6月定例会に報告しました。
- 委員会では、総定数の削減や、人口に比例した各選挙区の定数配分を行うと、人口が減少している地域の意見が県政に反映されにくくなるといった課題などが指摘されたことから、政令市等と中山間地域のバランスを考慮し、公職選挙法の規定を適用して「現状維持」とすることとしました。



(6月定例会での委員長報告)



(特別委員会での審査)